



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

「学校法人東京女子医科大学 大学再生計画報告書」の提出について

本年 2 月の本学附属病院における医療事故とその後の大学内部統制の混乱により、患者様およびご家族の皆様ならびに関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

本日、「学校法人東京女子医科大学 大学再生計画報告書」を文部科学省に提出いたしました。本報告書は、今回の一連の問題について、外部有識者で構成された「学校法人東京女子医科大学 内部統制に係る第三者評価委員会」からの提言、学内の教職員からの意見等を踏まえて、制度面だけでなく本学組織風土を含めた改善計画をまとめたものです。今後、教職員一同が大学の理念である「至誠と愛」の精神を再認識し、全学一丸となって大学再生に努めて参ります。

本学附属病院における当該医療事故に関する第三者事故調査委員会による調査については、現在進行中であり、結果が出ましたら、速やかにご報告いたします。また、過去に本学附属病院において鎮静剤（プロポフォール）を投与された小児患者の死亡例に関する外部評価委員会による評価についても、速やかにご報告いたします。

このたびの事態を厳粛に受け止め、医療安全管理態勢ならびに経営管理態勢の充実・強化に取り組み、今後二度とこのような事態が起こらないよう、教職員一同、再発防止に最善を尽くし、社会からの信頼回復に向けて努めて参ります。

学校法人 東京女子医科大学

理事長 吉 岡 俊 正